

すみだトリフォニーホール指定管理者応募事業者概要

	事業者名	公益財団法人 墨田区文化振興財団
1 利用者サービスの向上	(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者にも配慮した音声ガイド付きの公演の実施 ・小さな子ども連れでも気兼ねなく楽しめる公演の実施
	(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・一般区民に関心があり親しみやすい内容（映画音楽、伝統芸能とのコラボレーション、ジャズなど）を企画し、ホールのファン層を広げるとともに、区民にまた来たいと思っていただける公演の実施により、区民来場率を引き上げていく。 ・学校施設や福祉施設だけでなく、その他の施設でふれあいコンサートを開くなど、アウトリーチ活動を拡充し、誰もが気軽に音楽に触れ、参加できる環境づくりに配慮していく。 ・新日本フィルハーモニー交響楽団が提供する定期演奏会への共催等を通じて、名曲や親しみやすい曲を中心としたクラシックコンサートを安価で提供する。 ・「すみだ音楽祭」を開催することにより、区内の音楽団体の発表と交流の場を提供し、音楽団体等の活性化につなげていく。また、「すみだ文化芸術情報サイト」を通じた団体の公演情報の発信や、団体の周年記念事業に対する後援等、団体に対する手厚いサポートを行うなど、支援や協力の仕組みを検討していく。
	(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSなど、それぞれのメディア特性を生かしながら、情報発信していく。 ・ネットでのチケット購入率が70%以上を占めるため、リアルタイムでの座席指定が行えるソフトを導入し、チケット購入までノンストレスで利用できるようにする。 ・これまで実施してきた観光協会や地元商業施設との連携に加え、隣接するホテルのレストラン食事券とコンサートチケットのセット券など、新たな取組を検討し、地域に賑わいを広げていく。
	(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・「行ってみたい公演のリクエスト」や「公演内容に関するお客様アンケート」を、すべてのフランチャイズ・オーケストラ活用コンサートで実施し、来場者から寄せられるご要望を、TwitterやFacebook、Instagramに寄せられた声とともに活用することで、来場者ニーズに応える公演企画を実施していく。
2 効果的・効果的な施設の運営	(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	<p>人と地域に貢献できるホールをめざして、地域の活性化、人や地域の絆づくりなど本区が抱える課題の解決にも貢献できるよう、次の4点を基本方針として掲げている。</p> <p>地域の魅力づくりや活性化に貢献します。 誰もが気軽に音楽に触れ、参加できる機会の提供に貢献します。 音楽を通じた地域コミュニティづくりに貢献します。 時代を支える人づくりに貢献します。</p>
	(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から令和4年度までの5年間、文化庁（日本芸術文化振興会）の文化芸術振興費補助金による「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択されている。また、コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）への応募を行うなど、外部資金の確保に努める。 ・音楽イベントを通じた寄付、チラシ・ポスターなどの広報媒体への広告掲載、ジュニア・オーケストラの活動に対する協賛など、新たなファンドレイジングの手法を検討する。
	(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	指定管理料 352,000,000円
	(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃等の一般的な業務については、費用対効果を考慮しながら、可能な限り、区内に本社や支社を置く業者への発注に努める。 ・臨時職員の採用にあたっては、可能な限り区民の雇用に努める。 ・委託スタッフは、可能な限り区民を雇用するよう委託会社への働きかけも積極的に行う。
	(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か	<ul style="list-style-type: none"> ・大・小ホールとの区分利用率を90%に向上させるため、練習・リハーサルの利用の場合、1区分でも利用が可能であることや、小ホールだけでなく大ホールの空き情報についてもホームページ等で情報提供していく。 ・練習室1は、演劇などの舞台芸術にも利用できることから、積極的なPRにより認知度を高め、日数利用率の向上を目指していく。
3 事業計画の遂行能力	(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率 H30 72.2% ・経常損益 H30 62,795千円
	(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽事業課長1名（音楽事業係長事務取扱） ・音楽事業係係員3名、短時間職員1名 ・トリフォニーホール・サービス係係長1名、係員2名、派遣スタッフ2名
	(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> ・文化政策、文化施設の運営、指定管理者制度などをテーマとした職員のスキルアップ研修の実施 ・文書研修や会計研修の実施
	(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・「公益財団法人墨田区文化振興財団個人情報保護規程」に基づき、個人情報の保護と適正かつ円滑な事業運営の確保に努める。
	(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一の火災等の発生に備え、「すみだトリフォニーホール消防計画」に基づく、緊急時を想定した消防訓練を実施する。 ・急病、けが、その他の事故が発生した場合には、迅速かつ適切な対応を行い、区に速やかな事故報告を行う。
	(6) 同事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無	<p>墨田区 すみだトリフォニーホールの管理運営（開館時から） すみだ北斎美術館指定管理者代表団体（平成28年度～）</p>